



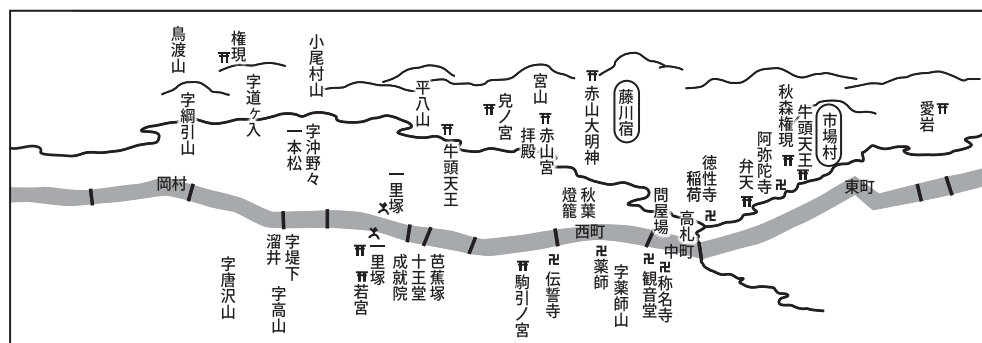
五海道其外延絵図 東海道 巻第7 重要文化財 東京国立博物館蔵 Image:Tnm Image Archives Source:<http://TnmArchives.jp/>

五海道其外延絵図 東海道 巻第7

江戸幕府が東海道の状況を把握するために、実地の測量を行い、文化3年（1806年）に完成した絵巻物。幕府が作成した街道を図示したものでは最大のもの（縮尺 1/1800）で、上図は東海道の藤

川部分にあたります。

絵図には、山や道の形状、沿道の主な建造物等では、問屋、本陣、脇本陣、社寺、一里塚、道標、橋、高札など街道の様子が詳細に描かれています。



目次 Contents

はじめに 景観まちづくりとは 景観とは 景観まちづくりとは

第1章 藤川の景観をかたちづくるもの 景観を空間・時間・距離でとらえる 藤川の景観をかたちづくる3つの要素 水・緑豊かな「自然・地形」 積み重ねてきた「歴史・伝統」 住み続けられる「まち・暮らし」 よもやま話「地名」が伝える景観

第2章 藤川の景観の見方・感じ方 心地よさ 山アテ 街道 宿場町 町家 社寺 遊び場 よもやま話 次世代の担い手を育む景観学習

第3章 藤川の景観を楽しもう！ まち歩きのスズメ

まち歩き5つの視点 東町エリア 中町エリア 西町エリア まつ並木エリア よもやま話 むらさき麦の再現

第4章 やってみよう！ みんなの力を合わせる 藤川の景観まちづくり

景観まちづくりのはじめの一歩 自然と暮らしをつなぐ 歴史と未来をつなぐ くらしと空間をつなぐ 個と全体をつなぐ 人と地域をつなぐ よもやま話「俳句」が伝える景観